

放課後子ども教室だよ

小島たのしい教室訪問

令和2年10月22日(木)訪問

○開設年度	平成19年	○参加者	対象学年：1～6年生
○活動場所	川俣町小島公民館		登録児童数：11名
○実施回数	59回	○登録スタッフ	8名 ※安全管理員・活動指導員の兼務
○実施時間	2時間 火・木曜日 (15:00～17:00)	○活動内容	宿題 運動 自由遊び 創作活動等

たのしい教室での活動を楽しみにしている子どもたち

今年度、小島たのしい教室には11名の子どもたちが登録しています。小島地区の子どもたちは、地区から5km以上離れた川俣小学校までスクールバスで通学しています。バスの降車場が小島公民館なので、スクールバスがやってくるとスタッフが玄関で子どもたちを出迎えます。スタッフの方は、検温、健康観察までの流れをスムーズに行っていました。

スタッフは小島地区の方8名で、みなさんが長い間スタッフとして関わっておられます。毎回3名で子どもたちの活動支援を行っています。保護者もスタッフのことがよく分かっているので、安心して子どもを預けることができます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で開催時期が遅くなりましたが、子どもや保護者から「早く開設してほしい」という声が挙がっていました。のびのびと活動できる子ども教室がとても楽しいので、7月に再会したときには、子どもたちも保護者も大喜びだったそうです。

当日の活動は、「宿題・自由遊び」でした。訪問した時間帯は1～3年生が宿題を終え、多目的ホールで遊んでいるところでした。子どもたちは、私たち訪問者にも進んであいさつをし、いきいきとした表情でのびのびと遊んでいました。

スタッフも子どもたちと十分にふれあいながら楽しそうに活動していました。



地域の方の思いを大切に

小島地区の方は、地域の子どもたちをととても大切にされていて、以前から子どもたちへ頻りにリンゴなどの差し入れをしてくださっていました。今年は食べ物ではなく、地区の手芸会の皆さんが手作りマスクを差し入れてくださったそうです。子どもたちは布書き用のマジックでイラストを書き入れ、大切に使っています。



コロナ禍における活動のヒント

コロナ禍の中で子ども教室を開催するにあたり、川俣町の放課後子ども教室担当者会議で話し合った内容を受けて、小島たのしい教室のスタッフ会議を開き、子どもたちへの対応やコロナ対策について共通理解を図ったそうです。

小島たのしい教室では、コロナウイルス対策として、少ない人数のスタッフでも効率的に消毒ができるように、次のことを行っています。

- ① 実際に使用する遊び道具等のみを残し、使用しないものは処分する。
- ② かごを用意して、使った道具や文房具類はその中に入れるように指導する。
- ③ 活動するのに十分な場所を確保するとともに、使用する部屋の数制限する。
- ④ 検温・健康観察・手指消毒・手洗い・マスク着用

①については、本当に使うものだけを残すことで、子どもたちが手にするものの数を物理的に減らすことを目的としています。決められた時間の中で、子どもたちと十分にふれあい、3人で活動後の消毒も行うためには、消毒する箇所が多くなってしまうと不都合なため、②を行うことで、子どもたちが使ったもの（消毒が必要なもの）とそうでないものを区別しているそうです。④については、子どもたちの手洗いへの意識・習慣づけのために、手洗い場にハンドペーパーを常時設置しているそうです。

